

平成 29 年度 第 1 回安曇野市歯科口腔保健部会 会議概要

1	会議名	安曇野市歯科口腔保健部会
2	日時	平成 29 年 8 月 10 日 午後 7 時 30 分から午後 9 時 00 分まで
3	会場	穂高健康支援センター 集団指導室
4	出席者	佐野委員、堀内委員、飯島委員、寺島委員、家高委員、横水委員、丸山委員 細萱委員
	欠席者	仁科委員
5	担当課出席者	介護保険課、藤原補佐、酒井保健師、太田歯科衛生士、福祉課、小笠原補佐 健康推進課、高橋課長、中澤センター長、白山歯科衛生士、石川歯科衛生士、 芝原
6	公開・非公開の別	公開
7	会議概要作成年月日	平成 29 年 8 月 18 日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開 会
- (2) 委員の委嘱
- (3) 健康推進課長あいさつ
- (4) 安曇野市歯科口腔保健部会について
- (5) 自己紹介
- (6) 会長あいさつ
- (7) 協議事項
  - 平成 28 年度歯科保健事業報告について
  - 平成 29 年度保健事業計画について
  - 安曇野市歯科口腔保健行動指針の中間見直しについて
  - その他
- (8) 閉会

2 協議の概要

平成 28 年度歯科保健事業報告について  
平成 29 年度保健事業計画について

【主な意見】

(委 員) 特定健診はいつまで。

(事務局) 8 月 9 日で終了しました。

(委 員)

特定健診時の歯科健診で、安曇野市歯科医師会からも数名ボランティアで参加させていただいたが、信州大学から 3 人歯科医師が来たと聞いている。歯科医師会の協力は必要ないのではないか。

(事務局)

安曇野市は受診者数が多く、当初は歯科健診のみだったが、唾液検査も実施したいという事もあり、信州大学から歯科医師が 3 名になった。

信州大学から安曇野市歯科医師会に依頼があり、歯科医師会は穂高地域のみ参加していただいた。ボランティアで参加していただき、大変申し訳ないと思っている。

また、来年度はやり方が若干変わると聞いている。厚生労働省の研究と合致するとのことで、厚生労働省の補助を信州大学が受けると聞いている。今年度の反省を受けて来年度、どのような体制で行うか検討したい。

安曇野市歯科口腔保健行動指針の中間見直しについて

- ・安曇野市健康づくり計画（第2次）と整合性を持たせるため今年度中間評価を実施する。
- ・行動指針にある、施策の展開のすべてのライフステージにおいて分析・評価を行う。
- ・第2回の協議会、部会で内容の報告をさせていただく。

その他

報告：障がい児・者への取組について

歯科口腔に関する相談が、介護保険課や健康推進課でできるという事を住民にアピールしたり、相談支援相談員等に研修会を開催する予定。結果についてまた報告をしたい。

（委員）

健康づくり推進員では歯科口腔保健行動指針の様な指針がないため、具体的に何をすればよいか分からない。今回このような指針がある事を初めて知った。参考にしていきたい。また、市民への健康サービス等を行っているが、受診率は芳しくない。積極的に情報提供や住民が参加できるような仕組みづくりを行ってほしい。

（事務局）

健康づくり推進員任期は2年と短く、非常に勉強してもらうことが多い。あとは地域によって取り組みがそれぞれある。歯科に関する情報提供は地域によって偏りのないようにしていきたい。

（委員）

長野県歯科衛生士会は安曇野市から委託をうけて、介護予防事業で教室をさせてもらっている。教室の最後にアンケートをとると次回も教室に参加したいという声をよく聞く。今までは二次予防事業という事もあり、次に繋げなかったが今年度からは希望があれば自主グループで行ってもらってもよいか。

（事務局）

教室のその後が大事になる。市では自主グループの立ち上げの手伝いや、地域で行っている所があれば案内をしている。また、定員に余裕があれば同じ教室に誘うことも可能。全教室で歯科に関する情報提供を行っている。今後そのような意見があれば可能性がある事を伝えてほしい。

（委員）

学校歯科健診、学校歯科保健指導は全小中学校で行っているのか。また、どれくらいの頻度で行っているのか。

高齢者の口腔ケアを看護師が行うこともあり、より専門的なケアで歯科衛生士の力を借りたい場合や相談をしたい場合はケアマネジャーで良いのか。

(事務局)

事業報告にも記載されているが、それ以外の学校に関しても校医が行っている。全ての学校に指導に入っている。形もさまざまで、全校朝会の時に歯科講話をしたり、各教室で歯科講話、指導をしたり、歯科健診後に必要な児童・生徒に指導を行っている学校もある。学校からの依頼で指導内容を相談して行っている。歯科健診については各学校で校医の先生が行っており、依頼のあった学校のみ記録に入っている。

(事務局)

現在、高齢者歯科相談窓口ではケアマネジャーや介護員などいろんな方から相談がある。必ずしもケアマネジャーを通さないといけない訳ではないが、要介護者の方は情報共有を担当ケアマネジャーとしている。相談はどこからでも可能。  
高齢者歯科相談窓口のチラシがあるので、そちらを訪問看護ステーションにお渡しし、どういことができるか相談させていただきたい。

(委員)

グループホームでさらに在宅に近い方と接することが増えた。成人歯科健診では障害をもっている方はどれ位受診しているか。また、どんな状況か。

(事務局)

一番受診者が多いのは若年者健診だと思う。軽度知的障害のある方が主だと思う。積極的に健診をPRしているわけではないので、大勢ではない。特定健診でも数名見かけたが、はっきり何人受診しているかは把握していない。

(委員)

食べ方を幼い時に学べなかった障がい者が多い。幼いころから障がいのある児に口腔機能についてさらに支援があればと思う。

(委員)

病院と地域をつなぐ橋渡しが出来ればと思う。寝たきりの方の口腔ケアが大切という意識は根付いてきたが、元気な方でこれからがん治療を始める方への意識が低い。歯を失ったり、口腔粘膜が病気によって侵される方は元々の現病歴に歯周病や糖尿病がある方が多い。がんになっても口腔保健は大切という事を周知してもらいたい。

(委員)

今年からお世話になる。何かこうしていきたいという事があれば協力していきたい。

(委員)

信州大学の研究に協力することによって得られることはたくさんあるのでよいと思うが、協力するのであれば他地域と条件を一緒にさせていただきたい。

(委員)

生活習慣病と歯科も医療連携をとっている。予備軍の方には健診受診を勧めてほしい。近年口腔がんが増加している。一部実験的に口腔ガン健診を実施している自治体がある。将来的に自治体の健診に取り入れてみては。

(事務局)

ありがとうございました。次回は 12 月ごろに中間評価について部会を開催させていただく予定です。